

青森県アスレティックトレーナーの会

定期総会

日時：紙面開催

2023年8月1日（火）～8月7日（月）

次第

1. 会長挨拶
2. 議事案件
 - 1) 2022年度総括
 - 2) 2022年度事業報告
 - 3) 2023年度収支決算報告
 - 4) 2023-2024 理事改選
 - 5) 2023年度活動方針
 - 6) 2023年度事業計画（案）
 - 7) 2023年度予算（案）

1) 2022 年度総括

会長 近江 俊正

会員の皆様におかれましては、日頃当会の活動にご理解とご協力を賜り誠に感謝申し上げます。

2022年は北京オリンピックに始まり、FIFA ワールドカップ、そして年が明けて WBC ワールドベースボールクラシックとスポーツの感動を満喫した1年でありました。ここ3年あまり、新型コロナの影響でスポーツイベントの自粛など現場でのスポーツ観戦もままならない状況でしたが、新型コロナ感染のリスクが徐々に下火になって来ている雰囲気の中、現場での観戦やトレーナー活動も可能となりスポーツの感動を直に体験できる状況になってきたようであります。

2022年も県内国内の競技大会が自粛される中、徐々に競技会も開催されて来ました。県内競技大会でのトレーナー派遣は主に救護活動が中心でありましたが、陸上競技、高校野球、ハンドボール、バレーボールに派遣しております。又、東北総体では14競技、栃木国体では12競技にトレーナーを帯同派遣しております。2026年の青森国スポを踏まえた競技力向上対策・医科学サポート事業により、トレーナー帯同派遣は比較的順調と思われます。国体ではカヌー競技や山岳競技など新たな帯同希望の競技も増えてきており、今後、増えることを予測すると対応の準備が必要と思われます。昨年度は初めて国体に向けた女性アスリートのコンディショニングの研修会を弓道競技と自転車競技で行いました。なお一層女性アスリートの発掘、コンディショニング、パフォーマンス向上、がキーワードとなっていくように思います。

総会をはじめとした各事業では全体研修会2回、養成研修会3回ともにWEBでの開催でしたが、昨年まで実施できなかったテーピングの実技研修を11月に開催。年が明け3月には認定試験を実施したところであります。コロナの影響で会議や講習・研修会がWEBでの開催が中心となっておりますが、会場への移動や日時の調整などを考えると合理的な面もあり、今後の主流になると思われます。

2022年度も新型コロナ感染リスクを伴った状況の中、活動いただいた会員には感謝申し上げます。

2) 2021 年度事業報告

1. 会議

(1) 総会

定期総会 2022年6月1日(水)～6月7日(火) 紙面開催

(2) 理事会等 (WEB 開催)

第1回理事会 2022年5月28日

第2回理事会 2022年6月18日

第3回理事会 2023年2月5日

*その他、WEB 研修会後に適宜開催

2. 研修会

(1) 全体研修会

第1回 2022年6月30日(木)・・・WEB 開催

「ランニングについて考える」

函館市医師会看護・リハビリテーション学院 (JSPO-AT) 横山 寛子 (当会会員)

「TOKYO2020 オリンピックの経験」

弘前記念病院 (JSPO-AT) 佐藤 誠剛 (当会理事)

第2回 2022年7月7日(木)・・・WEB 開催

「スポーツ・健康運動指導における薬学の基本とアンチドーピング」

青森大学 (青森県スポーツファーマシスト会) 川村 仁 先生

第3回 2023年2月22日(水)・・・WEB 開催

「スポーツ栄養の実践指導」

青森県立中央病院管理栄養科 田沢 優一 先生

(2) 公認アスレティックトレーナー養成講習会

第1回 2022年5月12日(木)・19日(木)・・・WEB 開催

第2回 2022年7月28日(木)・8月4日(木)・・・WEB 開催

第3回 2022年11月5日(土)・6日(日)・・・実技研修

3. トレーナー派遣

(1) 国民スポーツ大会 (国民体育大会) 等

①東北総合体育大会 (青森県)

陸上: 澤田徹平・田村明日香 水泳 (水球): 飯田雅也 レスリング: 佐藤誠剛

ハンドボール: 須藤宗 自転車: 近江俊正 ソフトテニス: 藤田恭介 ソフトボール: 澤田徹平

バドミントン: 須藤宗 弓道: 箕輪雄 山岳: 須藤宗 アーチェリー: 篠原博

空手道: 飯田雅也 なぎなた: 久田友貴

②本大会 (栃木県)

陸上: 澤田徹平・田村明日香 水泳 (競泳): 笹川隆人 レスリング: 佐藤誠剛

自転車: 近江俊正 ソフトテニス: 藤田恭介 バドミントン: 須藤宗 カヌー: 澤田翔一

弓道: 箕輪雄 アーチェリー: 篠原博 空手道: 飯田雅也 なぎなた: 久田友貴

③国民体育大会・冬季大会

スケート (青森県八戸市) アイスホッケー (少年男子): 近江俊正

スキー (岩手県八幡平市) クロスカントリー: 須藤宗

(2) 県内競技大会 (別紙県内大会派遣一覧参照)

①陸上競技

②野球

③ハンドボール

④バレーボール

(3) 講師派遣等

青森県競技力向上委員会主催研修会・・・納谷寿

青森陸上競技協会メディカルコラム執筆・・・澤田徹平、澤田翔一

むつ市スポーツ指導者テーピング研修会・・・納谷寿

(4) 推薦

① (公財) 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成講習会

2021年度推薦：蝦名将也 (第1位) →受講中、池田雄太郎 (第2位) →2023年10月登録予定

②2022年度日本陸上競技連盟トレーナーセミナー：星豪志、尾田遥香

③青森県水泳連盟トレーナー部員・・・笹川隆人、里村冠基、大里洋志、飯田雅也

(5) 会議派遣

①青森県競技力強化委員会：近江俊正

②青森県スポーツ医科学ネットワーク：近江俊正

③ (公財) 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー連絡会議：須藤宗

(6) その他派遣

①青森県スポーツドクターの会野球肘検診 (青森地区、弘前地区、むつ地区、十和田地区)

②青森県スポーツドクターの会高校野球メディカルチェック (五所川原地区)

別紙 2022年度度県内大会派遣一覧

陸上競技

- 1 青森県春季陸上競技選手権
- 2 青森県高校総合体育大会陸上競技
- 3 東北高校陸上競技大会
- 4 全国小学生交流陸上競技青森県選手選考会
- 5 全日本中学校通信陸上競技選手権青森県予選会
- 6 東北中学陸上競技大会
- 7 青森県高校新人陸上競技選手権
- 8 あおもり秋季ディスタンス記録会
- 9 あおもり秋季投擲記録会
- 10 青森県小学生交流駅伝大会
- 11 青森県高校男子・女子駅伝競走大会
- 12 青森県秋季陸上競技選手権

野球

- 1 春季青森県高校野球選手権（地区リーグ戦、地区予選含む）
- 2 全国高校野球選手権青森大会
- 3 秋季青森県高校野球選手権大会（地区リーグ戦、地区予選含む）
- 4 春季青森県高校軟式野球選手権
- 5 全国高校軟式野球選手権青森大会
- 6 全国高校軟式野球選手権西東北大会
- 7 秋季青森県高校軟式野球選手権大会

ハンドボール

- 1 青森県春季社会人ハンドボール選手権
- 2 青森県春季高校ハンドボール選手権
- 3 青森県高校総合体育大会ハンドボール競技
- 4 国民体育大会ハンドボール競技選手選考会少年の部
- 5 東北総合体育大会ハンドボール競技会
- 6 青森県秋季高校ハンドボール選手権
- 7 全国高校選抜ハンドボール選手権青森県第二次予選会

バレーボール

- 1 NHK杯東北高校バレーボール選手権
- 2 東北総合体育大会バレーボール競技
- 3 全国高校バレーボール選手権青森県予選


3) 2022年度収支決算(案)

	2022決算額	2022予算額	差引額
2022年度収入	3,798,057	3,327,404	470,653
前年度繰越	1,757,404	1,757,404	0
総務部	221,015	350,000	▲ 128,985
会費	221,000	350,000	▲ 129,000
雑収入 銀行利息	15	0	15
派遣部	1,286,638	1,000,000	286,638
事業収益	1,286,638	1,000,000	286,638
大会支援	129,055	50,000	79,055
陸上競技	129,055	50,000	79,055
高校野球	916,000	900,000	16,000
ハンドボール	123,625	50,000	73,625
バレーボール	117,958	0	117,958
研修部	533,000	220,000	313,000
事業収益	533,000	220,000	313,000
会員内研修会	533,000	220,000	313,000
全体研修会①	84,000	25,000	59,000
全体研修会②	69,000	25,000	44,000
全体研修会③	54,000	0	54,000
養成講習会①	54,000	40,000	14,000
養成講習会②	57,000	30,000	27,000
養成講習会③	206,000	30,000	176,000
公認資格試験	9,000	20,000	▲ 11,000
特別講習会	0	50,000	▲ 50,000
2022年度収入決算額	3,798,057		
2022年度支出決算額	1,557,963		
2022年度収支決算額	2,240,094		→ 次年度繰越

	2022決算額	2022予算額	差引額
2022年度支出	1,557,963	3,327,404	▲ 1,769,441
前年度繰越債務	0	0	0
総務部	69,310	80,000	▲ 10,690
事務費	0	10,000	▲ 10,000
物品費	29,786	10,000	19,786
会議費	14,946	30,000	▲ 15,054
郵送費	19,442	20,000	▲ 558
派遣費	5,136	10,000	▲ 4,864
雑費	0	0	0
派遣部	982,153	1,015,000	▲ 32,847
事務費	0	10,000	▲ 10,000
物品費	127,493	200,000	▲ 72,507
消耗品	92,164	150,000	▲ 57,836
トレーナー室備品	35,329	50,000	▲ 14,671
会議費	0	5,000	▲ 5,000
派遣費	854,660	800,000	54,660
交通・宿泊費	66,660	100,000	▲ 33,340
2022年度日当	788,000	700,000	88,000
研修部	506,500	225,000	281,500
事務費	6,760	10,000	▲ 3,240
物品費	143,740	10,000	133,740
会議費	0	5,000	▲ 5,000
研修会費	334,000	150,000	184,000
運営費	60,000		60,000
講師料	274,000		274,000
派遣費	22,000	50,000	▲ 28,000
予備費	0	2,007,404	▲ 2,007,404

2022年度(2022年4月1日～2023年3月31日迄)の決算報告書の監査を実施した。
その結果、会務は適正に行われており、計算書類は正確であると認める。

2023年 5月 22日

監事 中野渡 敦 

監事 飯田 雅也 

4) 2021-2022 年度 役員改選案 (五十音順、敬称略)

理事

近江 俊正 (留任 八戸・日スポ協 柔道整復師)
岡本 幸治 (留任 西津軽・柔整 柔道整復師)
尾田 敦 (留任 弘前・理学 理学療法士)
笹川 隆人 (留任 八戸・鍼灸 鍼灸師、按摩・マッサージ・指圧師)
佐々木智彦 (留任 西津軽・柔整 柔道整復師)
佐藤 誠剛 (留任 弘前・日スポ協 理学療法士)
里村 冠基 (留任 青森・鍼灸 鍼灸師、按摩・マッサージ・指圧師)
澤田 徹平 (留任 七戸・理学 理学療法士)
三戸 敦雄 (留任 西津軽・鍼灸 鍼灸師。按摩・マッサージ・指圧師)
須藤 宗 (留任 青森・日スポ協 理学療法士)
納谷 寿 (留任 むつ・柔整 柔道整復師)
橋本 博明 (留任 八戸・鍼灸 鍼灸師、按摩・マッサージ・指圧師)
安田 友久 (留任 八戸・理学 理学療法士)
久田 友貴 (留任 八戸・理学 理学療法士)

会長 (案)

近江 俊正

監事

中野渡 敦 (留任 青森・柔整 柔道整復師)
飯田 雅也 (留任 青森・理学 理学療法士)

2023 年は青森県スポーツドクターの会トレーナー部会の設立から数え 20 年青森県アスレティックトレーナーの会として独立して 10 年目の節目となります。いままで当会を支えてくださったスポーツドクターをはじめ数多くの方々に感謝申し上げます。これまでの経緯を踏まえ、今後の行方を考える節目と致します。

次に 2026 年開催の青森国スポまで 3 年余りとなり各競技団体は本格的に競技力向上に取り組む時期となり、今後、必須となるドーピング研修も含め当会でもそれに合わせて活動する時期となりました。

2023 年 5 月に新型コロナウイルス 5 類への移行に伴い感染対策が緩和させていくと思われませんが、コロナのリスクがゼロになったわけではなく、感染対策を励行し事業を進めてまいりたいと考えております。まずは、会員の安心安全を基に適時に計画を実施していきたいと思っております。

【重点項目】

- 1 青森県スポーツドクターの会トレーナー部会の設立から 20 年、青森県アスレティックトレーナーの会として独立して 10 年目の節目を迎え活動を新とする。
- 2 2026 年開催予定の青森県国民スポーツ大会に於いて、青森県が目標とする天皇杯皇后杯獲得に向けた競技力の向上に寄与する。
- 3 県スポーツ健康課、競技力向上委員会、県スポーツ協会、医科学ネットワークと連携をしながら 医科学サポート事業を活用し各競技団体と共に競技力向上に努める。
- 4 女性アスリートのコンディショニングやパフォーマンス向上に関する知識の獲得、研修会等のさらなる充実とレベルアップを図る
- 5 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成講習会へ受講者を推薦する

以上を主な項目とし活動してまいりたいと思っております。会員の皆様の御協力よろしくお願い申し上げます。

6) 2023年度事業計画(案)

1. 会議

(1) 総会

2023年8月1日(火)～6月7日(月) 紙面上開催

(2) 理事会

随時開催

2. 研修会

(1) 全体研修会

第1回 2023年8月3日(木)・・・WEB開催

「パラアスリートのサポートと億歳大会帯同経験について」

JA北海道厚生連俱知安厚生病院(PT、JPSA-ST) 檜館 強拓 先生

第2回 未定

第3回 未定

(2) 公認アスレティックトレーナー養成講習会

第1回 2023年5月11日(木)・18日(木)・・・WEB開催

第2回 調整中・・・WEB開催

第3回 調整中・・・実技研修

3. 派遣

(1) 国民スポーツ大会(国民体育大会)等

①東北総合体育大会:岩手県

②本大会:鹿児島県

派遣者予定:日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー有資格者

③冬季大会:

スケート アイスホッケー:

スキー クロスカントリー:

派遣者予定:日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー有資格者

(2) 県内競技大会

・陸上競技

・高校野球

・ハンドボール

・その他要請に応じて検討。

(3) 講師派遣等

①青森県競技力向上委員会主催研修会・・・内容により派遣者を検討する

②青森陸上競技協会メディカルコラム執筆(2編)・・・内容による執筆者を検討する

*その他、依頼があれば内容に沿って派遣者を決定する。

(4) 推薦

①(公財)日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成講習会

2023年度推薦:四橋優(第1位)、間山浩之(第2位) → 内定済み

2024年度推薦:2023年12月末までに推薦者を決定する。募集要項はHPに掲載中。

②2023年度日本陸上競技連盟トレーナーセミナー

*今年度の実績により推薦者を検討する。

③青森県水泳連盟トレーナー部員:笹川隆人、大里洋志、飯田雅也、星豪志、佐々木優、今正寛、
佐々木悠大、間山浩之

④弘前サクラオーバルズAT:葛原康介、星豪志、菊池拓道、千々松雅人、前田凱、逸見瑠生

(5) 会議派遣

①青森県競技力強化委員会：近江俊正

②青森県スポーツ医科学ネットワーク：近江俊正

③（公財）日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー連絡会議（2023-2024）：須藤宗

*その他、依頼があれば随時検討し派遣を決定する。

(6) その他派遣

①青森県スポーツドクターの会野球肘検診

②青森県スポーツドクターの会高校野球メディカルチェック

*その他、依頼があれば随時検討し派遣を決定する。

7) 2023年度収支予算(案)

	2023予算額	2022決算額	差引額
2022年度収入	3,983,094	3,798,057	185,037
前年度繰越	2,240,094	1,757,404	482,690
総務部	228,000	221,015	6,985
会費	228,000	221,000	7,000
事業収益	0	0	0
雑収入	0	15	▲ 15
派遣部	1,000,000	1,286,638	▲ 286,638
事業収益	1,000,000	1,286,638	▲ 286,638
大会支援			
陸上競技	300,000	129,055	170,945
高校野球	600,000	916,000	▲ 316,000
ハンドボール	100,000	123,625	▲ 23,625
バレーボール	30,000	117,958	▲ 87,958
研修部	515,000	533,000	▲ 18,000
事業収益	515,000	533,000	▲ 18,000
養成講習会	300,000	317,000	▲ 17,000
全体研修会	200,000	207,000	▲ 7,000
公認認定試験	15,000	9,000	6,000

	2023予算額	2022決算額	差引額
2022年度支出	3,983,094	1,557,963	2,425,131
前年度繰越債務	0	0	0
総務部	117,555	69,310	48,245
事務費	5,000	0	5,000
物品費	50,000	29,786	20,214
会議費	22,555	14,946	7,609
郵送費	20,000	19,442	558
派遣費	20,000	5,136	14,864
雑費	0	0	0
派遣部	1,330,000	982,153	347,847
事務費	5,000	0	5,000
物品費	320,000	127,493	192,507
会議費	5,000	0	5,000
派遣費	1,000,000	854,660	145,340
交通・宿泊費	150,000	66,660	83,340
2023年度日当	850,000	0	850,000
2022年度日当	0	788,000	▲ 788,000
研修部	540,000	506,500	33,500
事務費	5,000	6,760	▲ 1,760
物品費	150,000	143,740	6,260
会議費	5,000	0	5,000
研修会費	350,000	334,000	16,000
派遣費	30,000	22,000	8,000
予備費	1,995,539	0	1,995,539

項目	金額	單位	備註
現金	500000		
存款	1000000		
其他	500000		
總計	2000000		

項目	金額	單位	備註
現金	500000		
存款	1000000		
其他	500000		
總計	2000000		